

# 運営推進会議 会議録

園長	次長	係長	主任
			

(定例) ・ 臨時)

令和 5年 6月 21日(水曜日)	司会	記録
午前 午後 14時00分 ~ 午前 午後 15時 00分	斎藤係長	松澤

<p>【出席者】</p> <p>菊入園長 長谷川義弘様 村田みさ子様 鈴木敏和様 酒井明美様 高岡文月様 星人美様 雑賀真澄様 桑野園長 斎藤係長 松澤</p> <p style="text-align: right;">計 11名</p>	<p>【欠席者】</p> <p>長井園長</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
1 あいさつ	菊入園長より、令和4年度の決裁報告あり。法人としてはコロナ禍により厳しい報告となった部分はある。コロナウイルス自体は5類へ変更となったものの、市内でも感染者が出ており増加傾向ではあるため、引き続き感染症対応を徹底して行っていく。また近年梅雨時期には雨が多く、全国的に災害が起きやすい時期である。吉清水も立地上災害リスクはあるため、いずみ郷の協力して災害訓練を行っていく。6/25にはいずみの郷主導の地域合同防災訓練に参加予定。
2 利用者の現況報告	別紙資料参照。大腿骨骨折により入院中の方1名。7/1より新規利用者1名予定
3 活動報告	詳細は別紙資料参照。 R5.4.28 真福寺訪問。新聞を見て行きたいという声があり実施。お寺の荘厳な雰囲気、心落ち着くような時間を過ごされていた。 R5.5.9 ぼたん園外出。ぼたんの時期は過ぎていたが、シャクヤク観賞を楽しんでいた。 R5.5月開始、誕生日のお祝い。お花とメッセージカードを作成。喜んでいただけた。 R5.5.16～花壇作り。地域に出向き花を分けてもらったり、買い物に行つて花を選んだり、水やりを日課としたり、様々な交流や活動のツールとなっている。
4 勉強会	「小規模多機能型居宅介護施設とは」。斎藤係長より説明あり。別紙資料参照
5 その他	桑野園長より利用料金について確認あり、別紙資料をもとに説明を行う。特に科学的介護推進体制加算については、厚生労働省に利用者の介護度やADLなどの情報

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
	<p>を送信することで、データを蓄積しフィードバックを得ることで施設の特長や利用者の状態変化を追うことが出来る。それをもって更なるケアの改善に繋げるためのものであり、吉清水は現在データ送信を行っていることを説明する。</p> <p>桑野園長からは前回の会議で話題となった納涼祭についても話あり。今年度も開催は見送りとなった。</p> <p>民生委員の長谷川様より。法人の他サービスと重複しての利用が出来ないのかと確認あり。吉清水の契約者は原則吉清水のみの利用となり、その他のサービスを利用者が急遽宿泊を利用するといったことは制度上出来ないことを説明する。</p> <p>高齢福祉課高岡様より。現在の宿泊者で自宅に戻らずに長期宿泊となっている方は何名かと質問あり。現状2名とお答えする。高岡様より長期宿泊は本来の小規模多機能型居宅介護の役割から外れる部分もあり、長期宿泊者が増えすぎると臨機応変な対応が出来なくなってしまう。2名程度であれば問題ないが、その点は留意してほしいと助言をいただく。</p> <p>更に高岡様より。小規模多機能居宅介護施設は複合的な施設のためBCP計画の策定が難しい部分があるが、いずみ郷の他施設を手本とすることや災害備蓄を共有することで、災害に備える施設運営を行ってほしいとも助言をいただいた</p> <p>星様より。宿泊者の対応について、困難なケースはないかと質問あり。昼夜逆転傾向だったり、頻回にトイレに起きるような方はいらっしゃるものの、強い帰宅欲求や介護拒否が毎日見られるという方はいないことをお答えする</p> <p>今回会議中に施設で調理した梅ジャムを活用した飲み物とお菓子をお出ししたところ民生委員の長谷川様、村田様より、ご自宅に梅が生っているとお話があった。梅干し作りに活用したい旨をお伝えしたところ分けていただくこととなり、後日長谷川様のご自宅へ伺い、梅の収穫をさせていただき運びとなった。</p>
<p><b>【 懸 案 事 項 】</b>            次回は8月18日に開催予定</p>	